

広報

No.409

みのたま

平成元年
6—1日号

人口の動き 5月1日現在 総人口41,978人 男20,651人 女21,327人 世帯11,847

発行/美濃加茂市 編集/秘書課 ☎25-2111



大きらいな雨

み～んな食べちゃうッ!!

蜂屋保育所にて

平成元年は国際交流元年

2つの都市の友情は

赤道をとびこえた!!

平成元年六月二日、美濃加茂市はオーストラリアのダボ市と姉妹都市の提携を結びます。二つの都市が言語や習慣、宗教などの違いを乗り越え、深い理解と熱い友情で結ばれるのです。

平成元年。それは美濃加茂市の国際交流元年といえます。



●海外なくしての戦略はないと考えています

これをソニー全体でみると、売り上げの三分の二が海外向けであり、三分の一が国内向けとなっています。

ソニー美濃加茂はハミリビデオの半製品を生産しており、欧州の関連工場へも供給しています。ソニーでは、海外なくしての戦略はないと考えております。

ソニーの事業展開はつねに海外を意識していきまして、国外にある関連工場はおよそ三十社にものぼります。今年の三月にはイタリアにテープ工場が完成しましたが、たしか欧州で八番目の工場だと聞いています。

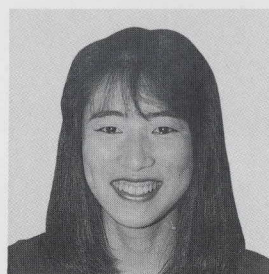
ソニー関係の販売会社も世界的規模で散在しています。今年姉妹都市を提携されるオーストラリアには、シドニーなどに販売会社がありますよ。

このように、消費者の近くで商品を生産するというソニーの生産体制は、現地のニーズにあった商品をタイムリーに供給できるということを目指したものです。



ソニー美濃加茂管理部総務課
課長 仲村 勝博さん

●英語が話せるからといって、国際人とはいえないと思います



御門町1丁目
今井 淳子さん

わたしは子どもたちに英語を教えています。実をいうと中学校では英語が大嫌いでした。それが、高校の英語の授業で雑誌を使ったり英語で歌をうたったりと、先生がユニークで楽しい授業をしてくださったものですから、いっぺんに好きになりました。

すっかり英語の魅力にひかれ、卒業後は英語の専門学校に進学しました。このとき、オーストラリアの姉妹校へ一カ月行く機会に恵まれたんです。オーストラリアの子どもたちは感性豊かでのびのびしているというのが印象にあります。あるとき三歳ぐらいの女の子が、ちっちゃな自転車に乗ってわたしに近づいて「お姉ちゃんにわたしの宝物の自転車を貸してあげる」って言うんですよ。このだけでも受け入れるひろい心こそが、国際人の条件だとも思います。だから英語が話せるとか、国際的な施設をつくったというだけでは国際人とはいえないでしょうね。

● 社員の英語研修や英文パンフで国際化時代を乗りきります



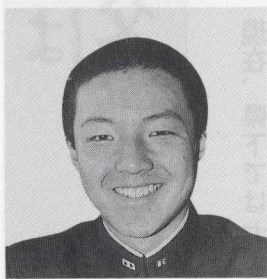
日本ライン観光(株)
社長 石田 和夫さん

日光や箱根という一大観光地をひかえた関東や、古い神社・仏閣で名の知られた京都にくらべると、東海地方においてになる外国人の旅行者は少ないですな。しかし世の中、国際化時代ですから、ライン下りをなさる外国人も年々ふえていますね。正確な統計ではないんですが、年間千人はおられるんじゃないのかな。

今年はとくに美濃加茂市がオーストラリアのダボ市と姉妹都市提携をされるというし、名古屋ではデザイン博も開催されるとあって、外国人客がかなり増える予想しています。だから直接お客さんに接する機会の多いカウンター係を英語の研修に参加させたり、英文のパンフレットをつくったりと、その対応に追われているんですよ。そう、船のなかで流す観光案内テープを英語にしようかとも検討していますよ。

手こぎの和船の良さを、もっと外国人にアピールしたいね。

● なまの英語を勉強して、外国へ行ってみたいと思います



伊 深 町 糠 洞
井 戸 克 明 君

昨年からですが、双葉中学校の修学旅行では東京にある外国の大使館へ立ち寄っています。これは社会見学というもののほか、国際親善としての意味ももっています。今年は、スリランカとシンガポールの大使館を訪れました。大使館では、ぼく達の代表者のいろいろな質問に親切に答えてもらえました。なかでもスリランカでは、わざわざ大使が出迎えてくれて、握手もしてくれ、感激でした。

ぼくの家には仕事の都合でアメリカ人やマレーシア人が遊びに来ていたし、ロータリークラブの交換留学生と伊深小のときに交換会をやったりしているから、外国人に全然違和感を感じません。

むしろ、英語は世界中で通じる国際語だから、もっと英語を勉強して外国にいつてみたいと友達ともよく話しています。ただ、日本人の先生だと発音が本場の英語と違うから、なまの英語に接したいなあと思います。

● 国際人を育てている、という誇りを忘れたことはありません

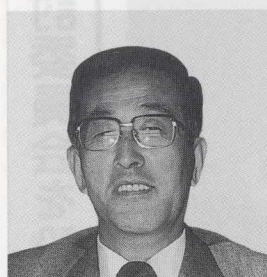


美濃加茂ライオンズクラブ
会長 尾 崎 民 夫さん

美濃加茂ライオンズクラブでは、青少年交換憲章にもとづいてクラブ員の子弟による交換留学を行っています。これは、文化のまったく異なった国の家庭で日常生活の体験をさせることによって、国際理解や親善に大いに役だつ青少年を育てようという精神で実施しているものです。ライオンズクラブには十一の分会がありますが、交換留学をすすめているのは「YE・レオレクリエーション」という分会です。この分会は、昭和四十六年から交換留学を始めました。交換する相手国はアメリカ、カナダ、西ドイツ、オーストラリア、ニュージーランドなどで、だいたい一年に一人の割合で相互に交換しています。これまでに海外に派遣した日本人の子弟は六人、受け入れた青少年は十人を数えています。

ホームステイとなった会員は失敗を何度もくりかえしながらも、国際人を育てているという誇りを忘れたことはありません。

● 学校での国際化への対応は、英語教育だけではないはず



市 立 西 中 学 校
校長 高 田 武 さん

最近の子どもたちは、マスコミを通じて海外のいろいろな情報に触れているせい、外国人に対してまったくものおじしませんが、たとえば、一定の期間なまの英語を教えるために、外国人教師が授業を受けもつのですが、彼らと友だちのように気楽にやっているといます。

しかし、真の国際化には間接的な情報や、特定の外国人との接触だけでは育つはずがない。目と耳とはだ、海外のさまざまな情報を感知することができるよう国際交流があつてこそ、国際理解に進展し、それが国際化につながると考えています。

昨年、欧米諸国の小・中学校を視察してきたのですが、イタリアでは日本がまだ刀をさしているといった誤った情報に接しているんですよ。これでは真の国際化はできないと思います。

学校の国際化への対応で重要なことは、英語教育だけではなく、日本の文化や伝統をよく学ばせることだと考えています。

姉妹都市提携は 国際交流の呼び水

美濃加茂市にも国際化の波がおし寄せています。今後、海外からの「ひと・もの・情報・文化」にどのように対処していくかが、大きな課題といえます。

現在、県下では七市一町が姉妹都市による国際交流に力を注いでいます。ここで、なぜいま国際化なのか、なぜ姉妹都市なのかを考えてみます。

●国際化の波は地域社会に徐々に浸透していった

高度経済成長の波に乗り、わが国は急速に国際化が進んで、海外との「ひと」と「もの」の流れが急激に増加しました。それは外国との経済、政治的側面を中心とする国家的規模の国際交流というかたちで行われてきました。

その後、国際化は地域社会のすみずみまで浸透し、わたしたちの日常生活は、好む好まざるを問わず、国際的枠組みの中に組み込まれていきました。

しかし、国家的規模の国際交流では、「ひと」と「もの」の交流はあっても、地域に必要な「情報」と「文化」はなかなか得ることはできません。美濃加茂市の国際化も、前に見たように企業や観光、教育、さらには一般市民にまで広がっているの

ですが、これら外国の「情報」や「文化」を効果的に活用する方法はありませんでした。

また、ライオンズクラブやロータリークラブのはたらきかけで、美濃加茂市にも毎年複数の交換留学生がきています。さらに旅行や商用、公用で市内にとどまる外国人も徐々に増加していることも事実です。こういった状況にうまく対応するためには、美濃加茂市民の外国人へのじゅうぶんな理解と認識が必要となってきました。

今後、さらに強まると予想される美濃加茂市の国際化の流れのなかで、言葉や風俗、宗教、習慣などの違いを乗り越え、理解し尊重することができるような視野のひろい人づくりが、しだいに強く求められてきている

のです。

こうして、地域社会のすみずみにまで浸透しつつある国際化の波に対応できるよう、美濃加茂市ではその体制づくりの準備作業をすすめることになっていくのです。



ロータリークラブの交換留学生のカート君

●国際交流推進検討委員会を設置

このような背景から、昭和六十二年七月には、市教育委員長の森田耕平さんを座長とする国際交流推進検討委員会が組織されました。委員会は市の自治連合会、婦人会、農協、商工会、工場経営者協会、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、青年会議所、中学や高校の校長など各界の代表者をはじめ、市議会から七人、行政から四人の計十二人で構成され、国際交流の具体化に向けて、あらゆる角度から討議を始めました。

最初に協議されたのが、次代をになう青少年を中心とした人づくりを進めるにはどうすべきかであり、そのためには国際交流の環境整備をはかることが大きな課題であるとの提言がなされました。そこで、行政が先導役となって姉妹都市の提携を結び市民や団体の参加意識を盛りあげたのち、やがては市民主体の国際交流を推進するよう努力するとの結論をみたのです。

委員会はさっそく相手国の検討を始めましたが、結局、英語圏の国であること、対日感情や治安の良さなどからオーストラリアを選定、そのなかでもニューサウスウェールズ州内の都市



オーストラリアについて検討をすすめる委員会

をとということになりました。東京の州政府事務所などを通じてニューサウスウェールズ州に照会したところ、人口規模や、内陸で交通の要衝都市であることなどの立地条件が美濃加茂市と類似しているダボ市が名乗りをあげてきました。

そこで、市は委員会の意向をダボ市につたえたとところ、昭和六十三年九月にはダボ市議会が姉妹都市提携を承認、翌十月にはダボ市の前ロータリークラブ会長が市長のメッセージをたずさえて当市を訪問するなど、締結実現の可能性は、しだいに具体化していったのです。

●なぜオーストラリアなのか?

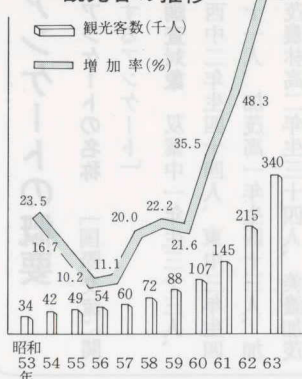
オーストラリアと日本は、いろいろの分野で密度のこい交流を行っています。

たとえばオーストラリアへの日本人旅行者は、昭和五

三年に三万四千九百六十三人が、昭和六十三年には三十四万八千九百六十三人にのぼり、十一年間で十倍という大きな増加となっています(グラフ)。

貿易面でも、日本はオーストラリアの一番の輸出先となっており、輸出総額では全体の二六%と、二位の

日本人のオーストラリアへの観光客の推移



ると、オーストラリアはアメリカ、インドネシア、韓国について第四位になっています。

また、オーストラリアの十九大学のうち十七大学に日本関係の講座を設置、中・高校生で日本語を学ぶ数はおよそ一万六千人、小学校でも千五百人にのぼるほど、日本語への熱意は大き

●今後の国際交流をどうすすめるか?

ダボ市との姉妹都市提携に関する盟約には、「教育、文化、スポーツ、その他将来必要と認められる分野の交流をはかるとともに、両市民の友好を深め、

いものがあります。この結果、日本語を学ぶ人口比率では、世界第三位にも達しています。国際交流推進検討委員会ではこのような密接な関係にあつて、しかも世界言語のうち最大の勢力を誇る英語圏の国オーストラリアが、提携の相手国にもっともふさわしいと判断したのです。

もって市民生活の向上、福祉の増進に務め、ひいては両国の親善と世界の平和と繁栄に寄与する」とあります。

姉妹都市による国際交流の大きな意義は、「一人でも多くの市民の国際交流への直接参加」にあり、そのためにも効率的で息の長い交流を進めることが必要となつてきます。

今後、計画されている具体的なものとして、

- ・ 高校生の交換留学生制度
- ・ 青少年を主体とした教育や文化の交換
- ・ スポーツの交換
- ・ 有職者の技術や知識の交流

など、はばの広い交流活動が予定されています。

しかし、これらを推進するためには、市民のみなさんの国際交流への理解と協力が必要であることは言うまでもありません。

人情の厚いオーストラリアと真心のこもった交流を



ダボ市調査団の通訳
山中マーガレットさん

わたしの出身地のクイーンズランドは石炭を日本に輸出していることから、とりわけ日本とのかかわりの深いところです。そこでは小学校でも日本のことを社会科でとりあげ、ちゃんとした知識を教えてくれました。

オーストラリアのほかの地域でも、日本への関心は高いですね。大学の日本語学科は人気があつて、定員オーバーという話をよく聞きます。というのも日本語の話せる学生は就職率が良



昭和30年 長崎市は姉妹提携第1号となった

姉妹都市第一号

長崎市民の国際感覚はしだいに盛りあがりを見せた

戦後まもない昭和三十年、長崎市とアメリカのセントポール市とのあいだで、わが国初の姉妹都市の提携が行われました。当時は、国際化という言葉さえ耳慣れないことだっただけに、画期的な出来事として報道されたようです。

提携後のおよそ二十年間のセントポール市との交流は、市旗の交換、使節団の相互招待、メッセージの交換など、行政色が強い傾向にありました。しかしその間に市民の国際感覚は、しだいに盛りあがりを見せていきました。

昭和五十年以降、両市ロータ

現在、高校生や大学生による交換留学や夏期セミナーへの参加、スポーツ団体や文化組織の交歓、民間使節団の相互訪問など、いろいろな方面でさまざまな国際交流が行われています。

オーストラリア人は、きびしい自然のなかで人間関係の大切さを学んでいる国民です。だからダボ市との交流も、かならず心と心の交流ができるものと信じています。

市内の中学・高校にかよう生徒たちにアンケート あなたたちは**交換留学生**として オーストラリアに行ってみたいと思いますか？

姉妹都市による国際交流の目的

は、青少年を主体とした人づくりにあります。外国の異なった文化に接して、限らない可能性を秘めた前途ある国際人に育つように、というのが美濃加茂市民全体の願いなのです。

ここで、今後展開される国際交流の主役となる青少年のかたがたが、国際交流に何を感じ、どのようなことを希望しているのかを調査してみました。調査に協力していただいたのは、双葉中学を含む市内の中学校三校、高等学校三校の生徒のうち、それぞれ一校一年一クラスを抽出した計二百四十五人のみなさんです。

アンケートの概要

■アンケートの名称 「国際交流に関するアンケート」

■調査対象 双葉中一年生三十三人、

西中二年生四十四人、東中三年生四

十一人、加茂高一年生四十三人、加

茂農林高二年生三十四人、美濃加茂

高三年生五十人の計二百四十五人 男

子百四十五人、女子百人

■調査項目数 八項目

■回答方法 多枝択一（「わからない」

の回答には、自由意見を書く欄をも

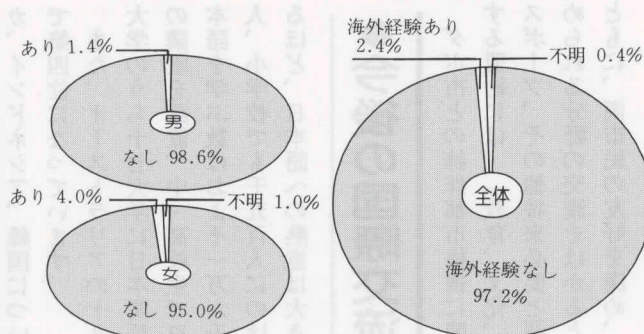
うけた）

問1. 外国に行ったことはありますか

九七・二％が「海外経験なし」と答え、「海外経験あり」は二・四％で

した。これを男女別で見ると女性の「海外経験あり」が男性を二・六％上回っています。

中学生と高校生を比較すると、高校生の「海外経験あり」が中学生より一・四％上回っています。国際化時代といわれる昨今、二・四％の「海外経験あり」は意外と少ないと思いませんか。



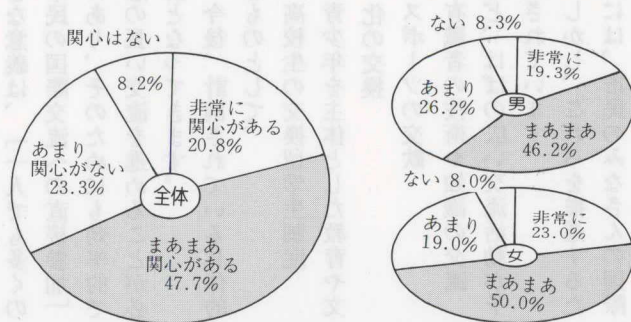
問2. 外国に関心はありますか

「関心がある」と「まあ関心がある」の合計は六八・五％で、大半が何らかのかたちで外国に関心を示しているようです。一方、「関心がない」と答えたものは、わずか八・二％にすぎませんでした。

また、男子で関心を示している者が六五・五％

に対し、女子では七三・

〇％と、女子のほうが興味をもっているようです。

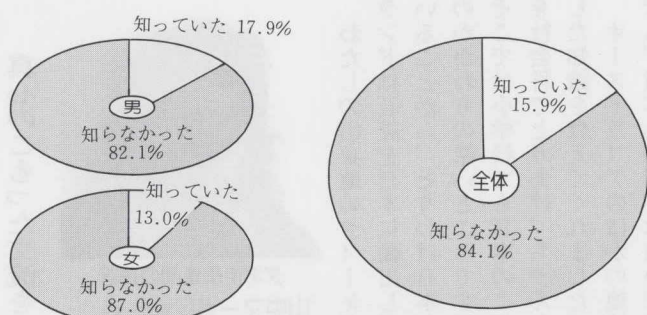


問3. ダボとの提携を知っていましたか

姉妹都市の提携を「知らなかった」者が八四・一％となっています。

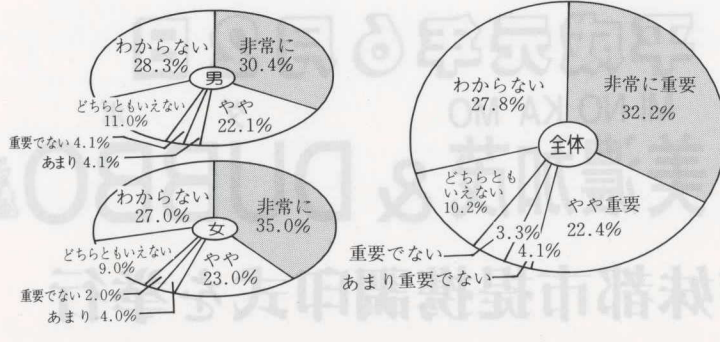
男女別で見ると、男子では「知っていた」が一七・九％なのに対し、女子では一三・〇％と男子の方が情報に敏感であることが分かります。

問二で、男子より外国に関心の高かった女子が姉妹都市の提携を男子より「知らなかった」のは興味ある現象です。



特集 2つの都市の友情は、赤道をとびこえた!!

問4. 国際交流は重要だと思いますか



「非常に重要」が三二・二%、「やや重要」が二二・四%と、何らかのかたちで重要と答えた者が五四・六%と過半数をこえています。

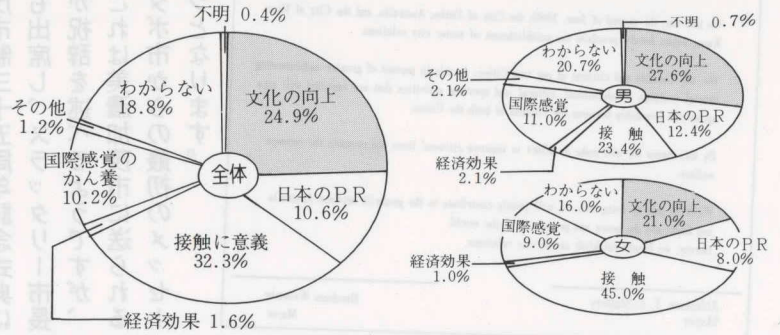
ただ「わからない」も二七・八%と多く、これは学年が下がるほど増加する傾向にあります。

一方、男子の五二・五%が重要と答えているのに対し、女子では五八・〇%と多くなっています。

問5. 国際交流の意義はなんですか

「わからない」をのぞくと、「接触自体に意義がある」(三三・三%)、「文化の向上」(二四・九%)、「日本のPR」(一〇・六%)、「国際感覚の醸成」(一〇・二%)の順で多くなっています。

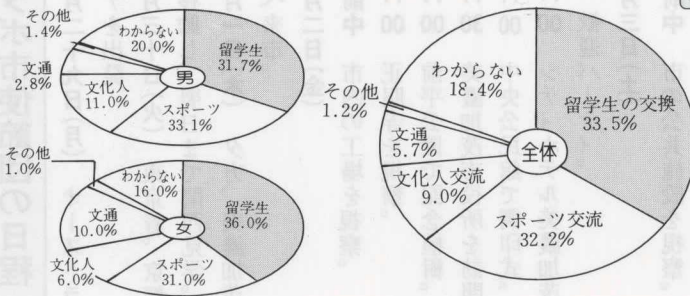
男女別で見ると、男子では「文化の向上」が一位なのに対し、女子では「接触自体に意義」がトップを占めています。



問6. 国際交流をどう進めたら良いですか

国際交流のすすめかたには、「留学生の交換」(三三・五%)と「スポーツの交流」(三二・二%)の二つにほぼ同じ割合で集中しています。

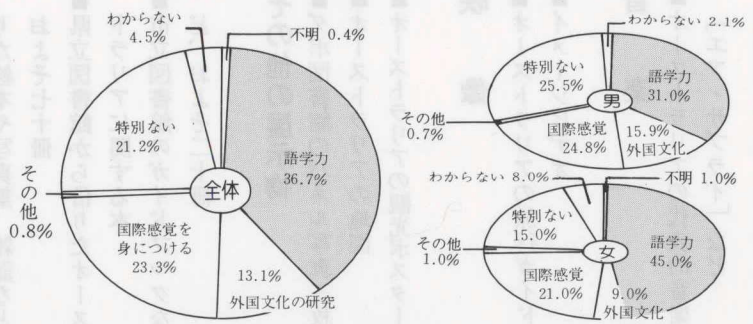
この両者は性別や学年によって大きなひらきがあつて、学年が低いほど「スポーツの交流」をのぞみ、女性のほうが「留学生の交換」を希望するという傾向にあります。



問7. 国際化に備え、努力していますか

国際化に備えて個人がなすべき努力を聞いたところ、「語学力をつける」が三六・七%で一番多くついで「国際感覚を身につける」の二三・三%、「特別な」の二・二%となっています。

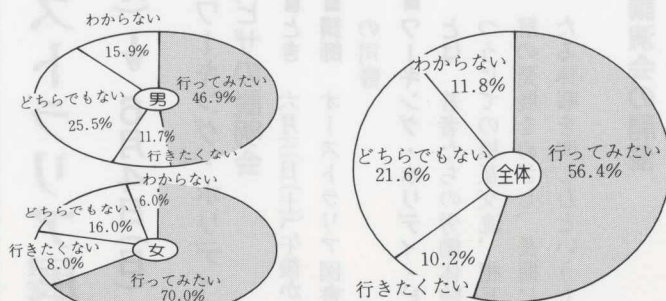
男女別を見ると、女子では「語学力をつける」が四五・〇%となつて、男子の「語学力をつける」の三一・〇%を上回っています。



問8. 交換留学生としてオーストラリアに行きたいですか

五六・四%の者が「行ってみたい」と答えています。男女間で大きな差があるのが特徴で、「行ってみたい」者のうち男子は四六・九%なのに対し、女子は七〇・〇%にも達しています。

「行きたくない」理由を調べたところ「英語が話せない」、「不安がある」、「交換留学のしくみが分からない」などの意見がみられました。



美濃加茂市とダボ市の 姉妹都市提携に関する宣言書

日本国・美濃加茂市とオーストラリア・ダボ市は、1989年6月2日、ここに姉妹都市として提携することを宣言する。

両市は、教育・文化・スポーツなどの交流を通じてより一層の理解と友好を深め、以て市民生活の向上と福祉の増進に努める。

それが、ひいては日本とオーストラリアの親善と世界の平和と繁栄に寄与することを念願し、ここに、かたく、両市が姉妹都市として提携する。

PROCLAMATION OF A SISTER CITY RELATIONSHIP BETWEEN THE CITY OF DUBBO AND THE CITY OF MINOKAMO

On this day, the second of June, 1989, the City of Dubbo, Australia, and the City of Minokamo, Japan, hereby proclaim the establishment of sister city relations.

We, the Councils and citizens of our two Cities, do this in pursuit of greater understanding through exchange of educational, cultural, and sporting activities that are expected will strengthen the friendship between the citizens of both the Cities.

By this means we will make an effort to improve citizens' lives and promote the common welfare.

We trust that by doing this we will jointly contribute to the goodwill between Australia and Japan and the peace and prosperity of the world.
Hereby, we firmly establish sister city relations.

Alderman T A Slattery
Mayor

Hirokazu Watanabe
Mayor

平成元年6月2日

MI NO KA MO

ダボ

美濃加茂 & DUBBO



姉妹都市提携調印式を挙行

平成元年六月二日。それは美濃加茂市とダボ市が姉妹都市提携を結ぶ、記念すべき重要な日となります。

調印式には、オーストラリア側からスラッター市長はじめ教育、農業、商業、ライオンズクラブ、ロータリークラブなど各界の代表者三十九人が列席する予定です。式は両国の国歌の斉唱ののち調印が行われ、市旗や記念品が交換されることになっています。一行は、六月四日の美濃加茂市制三十五周年記念式典にも出席し、スラッター市長が祝辞を述べるようですが、これは美濃加茂市に送られるダボ市からの最初のメッセージとなります。

ダボ市使節団の日程

- 五月二十九日(月) オーストラリアを出発
- 五月三十日(火) 東京着。京都へ移動し、翌日まで関西見学。
- 六月一日(木) 夕方、美濃加茂市へ来市。
- 六月二日(金)
 - 午前中 市内の工場を視察。
 - 13:00 正眼寺を視察。
 - 14:00 前平公園で記念植樹。
 - 15:30 美濃加茂市役所を訪問。
 - 16:00 中央公民館で調印式。
 - 18:00 シティホテル美濃加茂で、歓迎パーティ。
- 六月三日(土)
 - 午前中 市の公共施設を視察。
 - 13:00 美濃加茂高校を視察。
 - 14:00 ショッピングタイム。
 - 18:30 シティホテル美濃加茂で、市民との交流パーティ。
- 六月四日(日)
 - 10:00 美濃加茂市制35周年記念式典に特別出席。
 - 13:00 文化会館で茶会と琴の見学。
 - 15:00 ライン下り。
 - 16:00 犬山城を見学。
 - 17:00 犬山モンキーセンターと鶴飼を見学。
- 六月五日(月) 美濃加茂市を離れ、関東地方に滞在。八日(木)、帰途につく。



市立図書館のオーストラリア展

5月22日(月) ↓ 6月4日(日)

ダボ市との姉妹都市提携を記念して、オーストラリアの文化や社会、風俗、自然などを、本やパネル、映像などをつかってご紹介します。ぜひご来館ください。

図書の展示物

- オーストラリア図書館から借りた絵本や写真集、雑誌などおよそ七十冊
- 県立図書館から借りたオーストラリアに関する本
- 市立図書館のガイドブックなど、およそ二十冊

その他の展示物

- ダボ図書館のパネル写真三枚
- オーストラリアの地図
- オーストラリアの観光ポスター

映像

- オーストラリアの旅行ガイド
- イメージビデオ

音楽

- オーストラリアの代表的音楽、「エア・サプライ」など

ワーキング・ホリデー・ビザの説明会

- とき 六月三日(土)、午後から
- 講師 オーストラリア図書館の司書

ワーキング・ホリデー・ビザとは 若者たちの労働体験をつうじての相互交流、相互理解の発展をめざし、長期にわたる休暇を楽しむというもの

講演会の開催

- とき 六月三日(土)、午後一時半から
- ところ 市図書館集会所
- 演題 「オーストラリアの生活」
- 講師 クリスピン・ネイザン(オーストラリア図書館の司書)



「オーストラリアの生活」の講師
クリスピン・ネイザンさん

特集 2つの都市の友情は、赤道をとびこえた!!

ミッション系の大学に籍をお
いていたとき、シスターから外



古井町下古井
長江知世さん

草の根国際人

独学で英語を修得した

国にまつわるいろいろな話を
教えていただきましてね。それ
がきっかけで、外国の文化に興
味をもったのです。
最初はとにかく日本にいる外
国人と話をしようと積極的に近
づいていましたが、何をしゃべ
っているのか理解できず、英語
ができないもどかしさを痛感し
ました。そこで独学で英語を勉
強したり、市の中央公民館の英
会話教室に参加したりと、機会

をみつけては英語の訓練に励み
ました。そのかわり、一人で
も多くの外国人をつかまえては
なまの英語に触れるように心が
けていました。思いつくだけで
も、十五カ国の人たちと交流が
あります。
わたしは自分からすすんで外
国人に接する機会をつくってい
ますが、市民が手軽に交流で
きるようなシステムがないのが
残念におもいます。



市の国際交流元年にふさわしい国際感覚
を身につけるための講座です。

広い視野と国際協調の精神をはぐくみ、
国際理解を深めるために開講します。

特別教養講座「国際交流」に、ぜひご参
加ください。

- 主 催 美濃加茂市教育委員会
- 受講資格 市内在住、在勤のかたなどなたでも（学生のか
たも参加できます。また定員に満たない場合、市
外のかたも受講できます）
- 定 員 60 名
- 受講料 無 料
- 受付期間 6月5日(月)から24日(土)まで、市社会教育課(☎25-41
41)へ電話で。
- そ の 他 年6回のうち受講できるときだけでも結構です。
その場合でも申し込みをしてください。

国際交流元年にちなみ 特別教養講座を開設します

国際交流講座の内容

回数	日 時	場 所	内 容	講 師 等	備 考
1	7月22日(土) 14:00～15:30	中央公民館	○開講式 ○講 演 「国際交流を考える」	コスモスインターナショナル・ 国際交流を考える会代表 河 合 雅 子さん	東海女子短大、同大学ほか岐 阜大学の非常勤講師。民間の草 の根国際交流に貢献され、コス モスインターナショナルを主宰。
2	8月26日(土) 14:00～15:30	中央公民館	○私の故国 オーストラリア	多治見市在住 ジャネット・ バリスキルさん	陶芸の勉強のため夫婦で来日、 加藤孝造先生に師事。日本に來 て10年になる。ダボ市に親友が いる。
3	9月30日(土) 14:00～15:30	中央公民館	○私の故国 ド イ ツ	市内伊深町 佐野えんねさん	ドイツ生まれの日本人として地 域社会にとけこみ、社会教育活 動に貢献。昭和62年度には文部 大臣表彰を受賞。
4	10月27日(金) 19:00～20:30	中央公民館	○私の国際交流 ドミニカでの陶芸活動	市内下米田町 佐 合 政 昭さん	昭和60年12月から昭和63年3月 まで、青年海外協力隊員として ドミニカで陶磁器の技術指導に 従事。日本工芸会東海支部会員。
5	11月10日(金) 19:00～20:30	中央公民館	○私の国際交流 バンクーバーの日本人学校から	市立伊深小教頭 石 原 経 章さん	昭和61年4月から3年間、カナ ダの日本語補習学校の校長とし てバンクーバーに赴任、日本駐 在員の子どもの教育に従事。
6	12月16日(土) 14:00～15:30	中央公民館	○私の国際交流 異なる文化を楽しむために	白川町黒川 辻 紀 子さん	海外の若いオルガニストをとおし て、外国との交流を推進。イタリ アオルガン研究会の世話人。白 川で「外国語を楽しむ会」を主宰。

木曾川右岸の築堤が完成

プロムナード構想で親しみのある築堤に



建設省中部地方建設局
木曾川上流工事事務所

美濃加茂市

昭和五十八年からすめられてきました木曾川護岸築堤がこのほど完成、さる五月十五日に太田公民館協賛で竣工式が行われました。

昭和五十八年九月二十八日、台風十号による集中豪雨で木曾川が氾濫、美濃加茂市は死者一人、重傷者一人、被災者総数六千九百九十六人という未曾有の大被害を受けました。

この事態を重視した建設省では、災害後わずか二カ月で直轄河川木曾川激甚災害対策特別緊急事業に採択、ただちに護岸築堤工事に着手することとなりました。

この事業は太田橋から坂祝町までの木曾川右岸四千八百三十メートルについて築堤工事がすめられてきたもので、総事業費およそ百九十五億円が投じられ、五年の歳月をかけて平成元年三月に完成しました。完成した堤防は河床から平均十メートルほどの高さ



昭和63年度の市内の小・中学校の卒業生の陶板画

となり、昭和五十八年に記録した水位にも耐えうるものとなりました。また排水ひ管十五カ所、橋梁一カ所もあわせて新設されています。

竣工式には、渡辺栄一代議士はじめ建設省、県、市の関係者や地権者などおよそ二百人が出席、代表者が堤防に備えつけられたくす玉を割ると、完成を祝う熱い拍手が一同からわきあがりました。

なお竣工式に先立ち、築堤の完成を記念して太田本町一丁目地内のスポット公園内に、モニュメント「時の流れ」を建立、



スポット公園での植樹

スポット公園のモニュメント

そのまわりにはそれぞれ国、県、市の木である桜、いちい、むくの木が植樹され、堤防一帯にやすらぎと潤いをあたえています。また、文化会館付近の堤防の壁面に、今年の小・中学校の卒業生全員が焼いた陶板画が飾られ、人びとの目を楽しませています。

さらに、木曾川河畔を親しみのあるものにするために、堤防上の道路をカラー舗装にするリバーサイドプロムナード構想があるなど、築堤をめぐる環境整備にも今後力がいれられていく予定です。



’89ミス日本ライン
柳沢かすみさん(20)



’89ミス果物
加藤久美子さん(23)



’89ミス中山道太田宿
早瀬豊子さん(22)

’89ミス日本ライン

柳沢かすみさんが女王に

五月七日、文化会館で行われた’89ミス日本ラインコンテストで、ミス日本ラインには柳沢かすみさん(二十歳、犬山市)が、ミス果物には加藤久美子さん(二十三歳、市内太田本町)、ミス中山道太田宿に早瀬豊子さん(二十二歳、加茂郡東白川村)がそれぞれ選ばれました。



今回のミス日本ラインコンテストは、美濃加茂市の市制三十五年式典やオーストラリアのダボ市との姉妹都市調印式といった一大行事をひかえた年だけに入賞者には賞金や商品のほか、海外旅行がプレゼントされることになっていました。

コンテストには市内の十人をはじめ、県内三十三人、県外十人の、合計五十三人が応募していました。コンテストに参加したのは三十六人と、少数精鋭の女の戦いとなりました。

審査は事前審査を含め、一次審査、二次審査、三次審査まであり、最後の三次審査にはいずれおとらぬ美女ばかり十人が残っていました。

厳正な審査ののち選ばれたミス日本ラインら三人は、今後は市の観光キャンペーンガールとして、姉妹都市調印式をはじめ多くの行事に活躍する予定になっています。

信友公民館が完成

期待される

地域活動の新拠点



ニュース・セクション

昨年の暮れから建設されていた信友公民館がこのほど完成、地元の住民およそ百人を集めて竣工式が行われました。

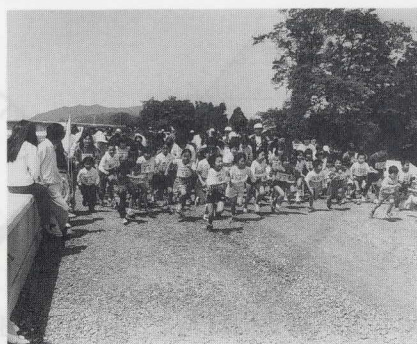
これは、従来からあった旧公民館が老朽化したため、二百ほど東に離れた現在の場所に新築したもので、総事業費はおよそ二千五百万円、鉄骨平屋建てで総床面積百七十八平方メートル、集会室のほか和室二、洋室一の会議室もあり、地域のコミュニティ活動の新拠点としておいに期待されています。

完成した堤防は

格好の駅伝コース!!

木曽川築堤の竣工式を明日にひかえた五月十四日、市太田地区体育振興会(近藤正一会長)は、この堤防道路で駅伝とジョギング大会を開きました。

太田地区の住民を対象としたこの大会には、駅伝に九チーム、ジョギングにおよそ百三十人の参加があり、堤防付近は人びとの声援でわきかえりました。



あなたの善意

このほど、つぎのかたから市へ寄附がありました。

■福田鋭夫さん(伊深町)

竹ぼうき七十本

わたしたちの代表は

明るく公正な選挙で

平成元年度は、参議院議員、市長、市議会議員補欠選挙などの選挙が予定されています。選挙の重要性をよく認識し、明るい公正な選挙の実現につとめましょう。

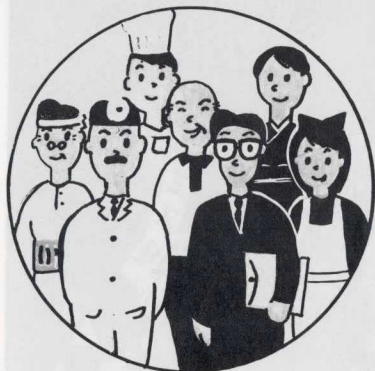
1. わたしたちと選挙

わたしたちの生活は、いたるところで政治と深くかかわっています。そして、わたしたちの生活を守り、向上させようというさまざまな意見や願いは、選挙で選ばれた代表者によって政治に反映されます。

この代表者は、わたしたちの信託を受けて、わたしたちのために政治を行うのであり、主役はあくまでわたしたち国民です。



2. 明るい選挙をめざして



民主政治が正しく行われるためには選挙が公平に行われ、わたしたち国民の意思が正しく反映される選挙であることが必要です。

そのためには、選挙から不正や腐敗をなくし、金や情実にと左右されない明るい選挙が行われなければなりません。

4. 寄附は絶対禁止です



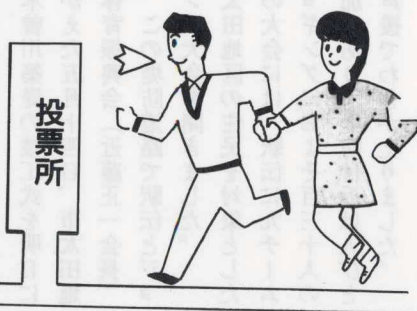
わたしたちの大切な代表はお金のかからない、きれいな選挙で選びたいものです。そこで選挙期間中に限らず、政治家や候補者が選挙区内の人に寄附や贈り物をする事や、有権者にこれらを求めることも禁止されています。

「贈らない。求めない。受けとらない」をモットーに、日ごろから明るく、きれいな選挙を心がけましょう。

3. みんな、すすんで投票を

民主政治をまもり、発展させるためには、選挙でより多くの国民が投票することが必要です。棄権にはいろいろな理由があるにしろ、結局は選挙権という国民としての大切な権利を放棄したことにほかなりません。

国民の一人ひとりが主権者としての自覚をもって、貴重な一票の権利をすすんで行使することが望まれます。

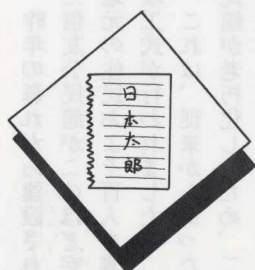
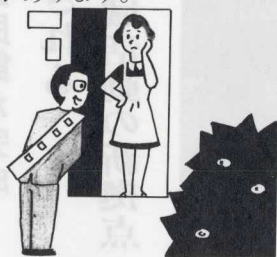


5. 選挙運動はきよく正しく

選挙の公正を守るために、選挙運動は一定のルールに従って行われるようにしなければなりません。

そこで、法律で選挙運動ができる時期、主体、方法について制限を加えていますので注意して下さい。

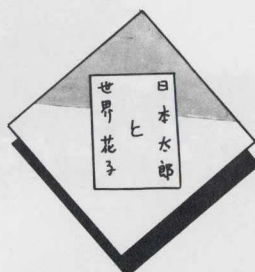
とくに公務員の地位利用による選挙運動の禁止条項がありますが、これは一般の公務員ばかりでなく、非常勤の公務員として自治会長にも適用される場合があります。



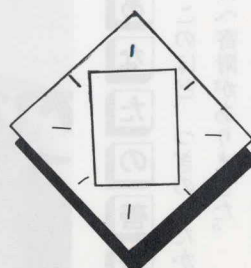
所定の用紙以外



原則として候補者名
以外の記載



2人以上の記入



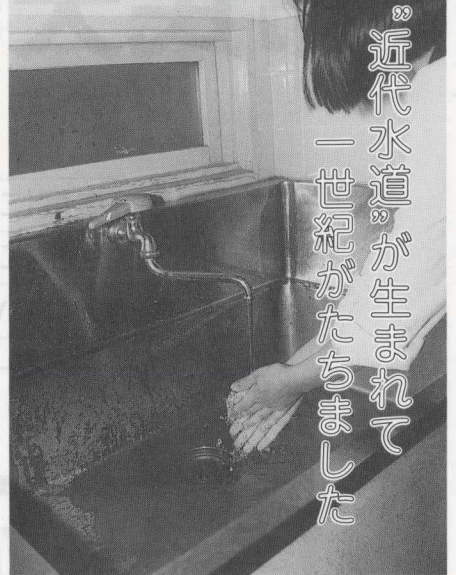
白紙投票

こんな投票は無効です

6月1日から7日は

水道週間

「近代水道」が生まれて
一世紀がたちました



現代のように、「蛇口をひねれば水がでる」といった近代水道は、明治二十二年に神奈川県横浜市にできました。当時の水道は、水を消毒していないことを除けば、原理的には現在の水道とまったく同じで、ろ過した水に圧力を加え、鉄管を通して給水するという画期的なものでした。

日本に近代水道が誕生して一世紀がたちました。全国の

水道週間



水道普及率は九三・六%（昭和六十二年三月現在）にものほり、蛇口をひねれば水がでるといことが当りまえとお考えのかたが多いと思います。

しかし、水そのものは無限にわいてくる資源ではありません。水源を得るためにつくられるダムには、たいへんなお金と時間がかかります。また水道の水をきれいに保つ苦勞も、はかり知れないものがあるのです。

水道は、わたしたちの生活には欠かせない「命の道」であり、これからも需要に応じて計画的に水道を整備していく必要があります。六月一日からはじまる「水道週間」を機会に、水道の大切さを見直してみませんか。

ふるさと

歴史探訪

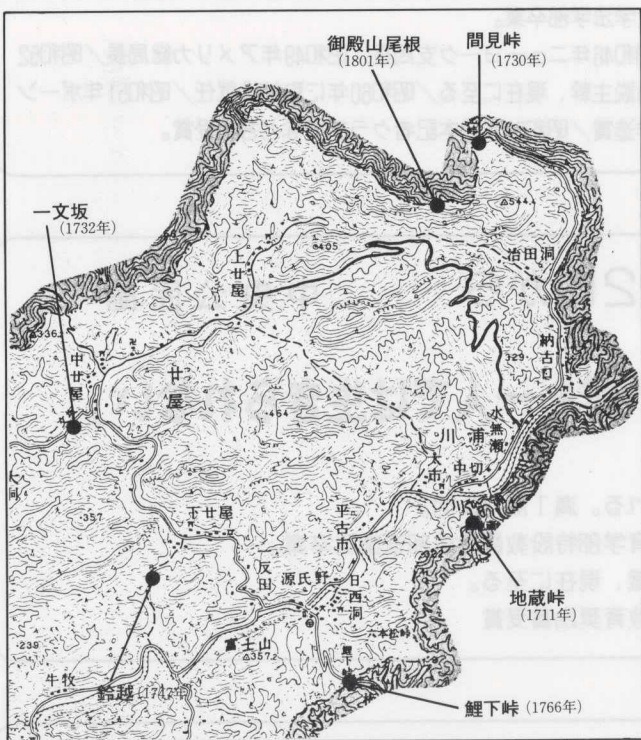
峠と村境

日本には約一万近い大小の峠があるといわれています。峠とは、文字通り山嶺を上り下りする険しい地形をもつところであり、「坂」とか「越」ともよばれ、古来より人の力の及び難い聖なる世界に接する場所として敬まれ、そして恐れられていました。

一方、その峠道は隣村へつ

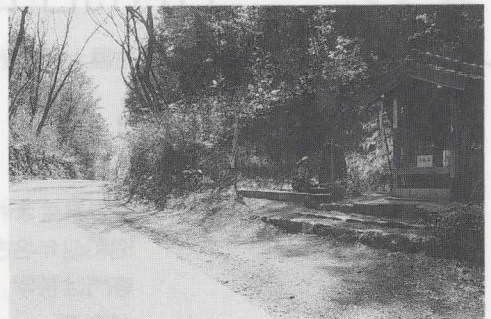
ながり、村の入り口、出口としての社会的な境界でもありました。峠は人が出会い、そして別れる独特の空間として「辻」や「橋」などと同様な意味合いを持つ場所でした。人々はその様な場所に、他界からの悪霊などの侵入を防ぐ意味で道祖神や地蔵を祀り村の安全を祈願しました。

左の図は、甘屋村と川浦村（現・三和町）の隣村境である峠に立てられている地蔵の位置図です。村域をぐるりと取り囲むように立てられていることがよくわかります。



地蔵のある三和町の峠（ ）は造立年

「地蔵峠」南方の「六本松峠」には「南無阿弥陀仏」の名号碑が立てられています。また、それらの造立年は一八世紀に集中しており、この頃の地蔵に対する人々の厚い信仰心がうかがえます。図の峠のなかには神淵へ抜ける「御殿山尾根峠」や「鈴越」（すずこ）など、近年の道路の整備などによってほとんど人の通らなくなってきたところもあり時代の流れを感じさせますが、かつては文化伝播の窓口として重要な役割を果たしていました。峠道の草のおい茂った昔さながらの風景のなかに、かつての旅人の足跡を見つけるような気がします。



平成元年度 美濃加茂市

市民大学講座のご案内

主催 美濃加茂市教育委員会

平成時代初年度にあたって、特に今までになかった分野の講師を招きます。21世紀に向かって生きるあなたの人生を彩る5人の講演をお聴き逃しのないよう、多数の応募をお待ちしています。

第一講座

6月17日(土) 午後2時から

中央公民館



朝日新聞論説主幹

まつ やま ゆき お
松山 幸雄

「日本の国際化をどう進めるか」

昭和5年東京生まれ、東京大学法学部卒業。

昭和28年朝日新聞社入社／昭和46年ニューヨーク支局長／昭和49年アメリカ総局長／昭和52年論説委員／昭和58年より論説主幹、現在に至る／昭和60年に取締役就任／昭和51年ボーン国際記者賞／昭和52年吉野作造賞／昭和53年日本記者クラブ賞など各賞受賞。

第二講座

7月15日(土) 午後2時から

中央公民館



岐阜盲学校教諭

なか ざわ よし お
中澤 義雄

「誰も一人では生きられない」

昭和7年平湯温泉に生まれる。満1歳で失明。

昭和31年東京教育大学教育学部特設教員養成部音楽科卒業。

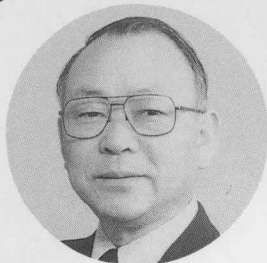
岐阜県立岐阜盲学校に奉職、現在に至る。

昭和57年10月NHK放送教育奨励賞受賞

第三講座

8月19日(土) 午後2時から

中央公民館



名古屋大学教授

ほり うち まもる
堀内 守

「生涯学習とまちづくり」

長野県生まれ、東京大学卒業。東京都立大学で「都市問題」を研究。

昭和43年名古屋大学に移り現在に至る。教育学博士。

専門は哲学、思想史、現代文明論だが、知的好奇心旺盛でその柔かな語り口は定評がある。

第四講座

10月21日(土) 午後6時30分から 文化会館



音楽家

もり
森 ミドリ

「花と音楽」

名古屋市生まれ。

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院作曲科修士課程修了

テレビの司会者、インタビュアー、講演など幅広く活躍。

特にNHK「趣味の園芸」の司会とテーマ曲の作曲・編曲でよく知られている。

平成元年4月より、NHKテレビ「N響アワー」司会

第五講座

11月18日(土) 午後2時から 中央公民館



鳥羽水族館長

なか むら はる あき
中村 幸昭

「人間と動物の知恵くらべ」

昭和3年鳥羽市生まれ、専修大学経済学部卒業。

朝日新聞東京本社勤務後、昭和30年鳥羽水族館を設立。

日本作家クラブ常任理事。

第5回日本作家クラブ賞受賞／昭和60年度東海テレビ文化賞受賞

受講の申し込み方法

●受講できる方

市内にお住まいか、またはお勤めの成人の方（定員に余裕のある場合は市外の方でも受講できます）

●受付期間

平成元年6月1日(木)～6月12日(月)

●定員 350名

●受付場所

美濃加茂市中央公民館 (☎25-4141)

電話でお申し込みください（来館の可）。

●受講料

2,000円（5講座通し）

※通し受講者の定員に余裕がある場合にのみ、1講座だけの受講もできます。

※1講座だけの受講の受付は6月13日(火)から開始します。

※1講座だけの受講料は800円です。

※第4講座（森ミドリ氏＝会場文化会館）のみ、一般の方も受講できます。（後日、文化会館よりお知らせします。）

●注意事項

※電話でお申し込みいただき、第1講座の当日受付時に受講料を納入していただきます。

※納入された受講料は払いもどしいたしません。

※お問い合わせは美濃加茂市中央公民館（☎25-4141）へ。





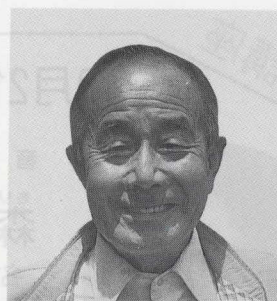
太田町下町 1
大野愛美ちゃん (11カ月)

愛美は人なれしているのか、人見知りしませんね。かわいがってくれる人には、だれにでも喜んで手をのびしちゃいます。
それ以上に感情をあらわにするのは、犬を見たときです。足をバタバタさせながら、「オッ、オッ」と叫んで大騒ぎになりますよ。

(お母さんの豊美さんの談)

ボーズですよ

いつも健康です



川合町 1 丁目
山田義一さん (79歳)

退屈しないように
自分に厳しくしています

七十歳まで勤めていた会社をやめたら、急にひまになりました。掛けごとは嫌いだし、ゲートボールもやりたいたとは思わない。毎日が退屈で退屈で、そりゃあ、一日が長かったですよ。そのうち拘束されない自由な生活も良いが、退屈を感じないような毎日を送らなければと考えるようになりました。

それ以来、一日に二時間は必ず散歩をするようにしています。午前中には家のまわりを一時間、午後は可見市まで散歩するのが日課となっています。これを続けて十年になりますが、散歩の途中、同世代の人をめぐったに見かけたことはありません。みなさん、どうしているのでしょうか。

いまはおがしの語り草



VISITORS FROM JAPAN. County Executive Mulroy and Mayor Walsh, seated, welcome representatives of a team of Japanese municipal officials here to study American government. Seated with them is Sakura Ishido, director of finance for the city of Kyoto. Rear, from left, Eiichi Watanabe, mayor of Minokamo; Kazuo Numata, mayor of Utsunomiya; Daisuke Kawaguchi, mayor of Akita; and Nobutada Funo, mayor of the city of Izumo.

ヘラルドジャーナル新聞掲載 アメリカ行政視察中の日本市長団代表を歓迎する、ウォルシュ市長とムロイニューヨーク州行政官一番左が渡辺美濃加茂市長

市長十一日に帰市 午後二時四分太田駅着

七月二日欧米視察の途についた市長は、四十日間の日程を元気に調査研究し、来る八月九日帰国される。
羽田には九日夜十時十分到着、十一日朝八時第一富士で東京駅を出発し、十二時三十四分岐阜駅着、美濃太田駅には十四時四分に到着される予定である。

(昭和37年 美濃加茂市広報第47号)

われら仲間たち

下古井消防団 (市消防団第2分団1班)

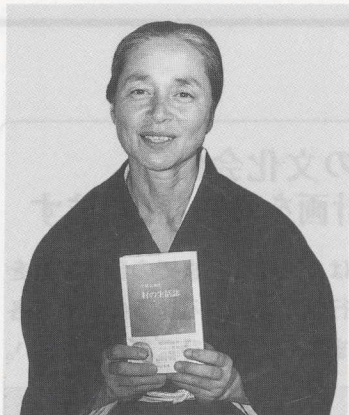


一定の時間内にホースを延長し、放水をするといった一連の消火技術を競う大会を操法大会といいますが、われら下古井消防団は昨年の市の操法大会で優勝し、この八月に行われる県大会への出場権を獲得しました。

現在、六月の市大会とこの県大会に向けて猛特訓中ですが、いつも訓練に明け暮れているわけではありません。消防団に帰ればボタンや靴ひもをゆるめて円陣を組み、世間話に興じています。制服、制帽姿の消防団という堅苦しいと思われるかも知れませんが、もとをただせばカーシヨップのせがれや酒屋の若い衆など、ふだん街で見かけるごく普通の人たちの集まりなのです。

種々雑多な職業を持つこの十人の仲間は、つらい訓練や危険な火災現場を経験するうち、しだいに兄弟のように親しくなります。五年の任期を終えて退団する者の中には、寂しさのあまり涙する者もあるほど、下古井消防団の結束力は強いのです。

かけがえのない仲間たちとの充実した消防活動、これがわれわれ同士の願いです。



「村の生活」

守田志郎 著

佐野綾目さん(伊深町)

わが心の本だま



蜂屋保育所 山田康明ちゃん



山之上保育所 渡辺加奈子ちゃん

市民サロン

強いげんこつで

弱いあごをノックアウト!?

最近の子どもたちは、堅い物を食べないせいかわ物をかむ力が弱く、それがあごの発達や歯ならびに悪影響を与えているとの指摘があります。そこで蜂屋町の瑞林寺では、手づくりの強いげんこつ、あめを食べてもらおうと、蜂屋小学校に贈りつづけています。

これは、瑞林寺の尾崎和子さんが、げんこつ、あめの作りかたを覚えたのがきっかけで始められたといい、檀家の有



著者の守田志郎先生は、都会で生活していらつしやったかたで、農村の姿を傍観者としてとらえているところに、この本の意味があると思います。村人の家族のやりとり、土との触れ合い、自然とのかけひき、人と動物との関係。これらを軽いタッチのエッセイとして表現している中に、大自然とは無縁である守田先生の農村に対する観念が織り込まれているんです。

それは、農業に生きる者を「本源的な事柄について、みず

志十五人が、二年前から真心をこめて行っているものです。その後、有志と児童のあいだで文通も行われるようになり、げんこつ、あめのプレゼントによって暖かい心の交流へと発展しようとしています。



から耕す人たちに、いつわりなしに子どもたちに教えることのできる者はない」とまでたたえ、都会人への警告と農民の認識という論理を展開していくのです。

方向の分からないまま農業を手がけていたわたしは、守田先生の客観的な指摘が人ごととおもえず、急に肩の力がほぐれた気がしました。

農村的思考が都会的思考に圧倒されつつある風潮を、守田先生はもっとも憂いていたかたではないでしょうか。

姉妹都市の素顔②——ダボの歴史

ダボ市からのエア・メール

ダボ市の属するニューサウスウェールズ州は、オーストラリアではもっとも古い歴史を誇っています。州の面積は日本のおよそ二・二倍にもおよぶ八十万一千平方キロメートルあり、海岸ぞいはブルー山脈やオーストラリア・アルプスなどの山岳地帯、内陸は平坦な一大構造盆地となっています。

大陸第一の大都市シドニーから西北に山岳地帯をこえた海拔二百六十四メートルのところにダボ市があります。

キャプテン・クックがオーストラリアに上陸した一七六〇年から、およそ六十年後の一八一八年、ジョンという男を中心とする探検隊がこの地方を訪れました。そして一八二四年には、最初の入植者がこの地を開拓して定住したと記録に残っています。一八三〇年代には入植者も増えて、はじめてダボという地名が使われるようになりました。このダボとは、現住民の言葉で「赤い大地」を意味します。

ダボは、北部の資源や物資をシドニーやビクトリア州へ運ぶ経路にあたり、人や物の集積地としてしだいに繁栄をするようになりました。

一八四九年、ダボは村となり、さらに一八七二年には町制を施行しています。ニューサウスウェールズ州では二万五千人以上の人口があれば、州総督の許可を得て市となることができますが、一九六六年にはこの条件をみたしてダボ市が誕生しています。



カモノハイツを分譲します

市土地開発公社によって造成がすすめられていた「カモノハイツ住宅団地」の分譲を開始します。

- とき 6月20日(火)から
- ところ 市内加茂野町加茂野地区
- 分譲区画 20区画 (1区画 216㎡～282㎡)
- 応募要領 「広報みのかも」 6月15日号に記載
- 問い合わせ 美濃加茂市土地開発公社 (市企画開発課内、内248) へ

ほたるコンサートを開催

「蛍と、人と、音楽を」をテーマとしたほたるコンサートを自然の中で行います。ぜひご参加下さい。

- とき 6月25日(日)、午後6時から
- ところ 三和小学校の校庭
- 主催 美濃加茂市商工会青年部
- 内容 藤掛廣幸氏によるシンセサイザーの演奏、美濃加茂少年少女合唱団および三和小学校児童の合唱
- 問い合わせ 美濃加茂市商工会青年部 (☎25-8500) へ

調理師の試験にチャレンジを

可茂保健所では、ことしも調理師の試験を実施します。あなたもチャレンジしてみませんか。

- 受付日 6月5日(月)、午前9時から11時、午後1時から4時まで
- 受付場所 可茂保健所
- 提出書類 受験願書、履歴書ほか
- 受験資格 飲食業の調理業務に2年以上従事した者
- 試験期日 8月10日(木)
- 問い合わせ 可茂保健所 (☎25-3111)



今年度の文化会館の事業計画をお知らせします

文化会館では、来年3月までの自主事業をつぎのように行います。いろいろの事業を各種そろえていますので、ぜひご来館ください。

開催予定日	催し物	開演	入場料	教育委員会の主催・後援の別
6月4日(日)	美濃加茂市制35周年記念式典			主催
7月9日(日)	市民の劇場「爆笑・吉本オン・ステージ」	14時 18時	前 ¥2,500 後 ¥2,800	〃
8月18日(金)	〃 「中国杭州青少年武術団」	未定	未定	〃
未定	〃 「映画」	〃	〃	〃
9月16日(土)	〃 「石川さゆりコンサート」	〃	〃	〃
10月21日(土)	文化講演会 講師「森 ミドリ」	〃	〃	〃
10月15日(日) ～22日(日)	第34回美濃加茂市美術展	9時	無料	〃
11月3日(金)	文化協会 秋の文化祭	〃	〃	後援
11月11日(土)	第3回美濃加茂市小・中学校音楽会	未定	〃	共催
1月15日(月)	平成2年成人式			主催
1月26日(金) ～28日(日)	第10回美濃加茂市民書き初め展	9時	無料	〃
1月28日(日)	第3回市民音楽祭		〃	〃
3月3日(土) ～4日(日)	古井地区公民館まつり		〃	後援
3月18日(日)	美濃加茂少年少女合唱団定期演奏会	未定	未定	〃
3月25日(日)	岐阜県立加茂高吹奏楽部定期演奏会	〃	〃	〃
未定	〃 コーラス部 〃	〃	〃	〃

市政バスがホタルの里にご案内します

例年ご好評をいただいております、ほたるの里をめぐる「ほたる市政バス」に、今年も参加しませんか。

- とき 6月14日(水)、午後6時から
- ところ 三和町川浦 (連絡所付近)
- 集合 中濃体育館に午後6時
- 定員 60名 (各自弁当を持参のこと)
- 申し込み 6月10日(土)から市秘書課 広報係 (内239) へ



6月の広報キャンペーン

男女雇用機会均等月間

六月一日～三十日

職場での男女平等を目指す男女雇用機会均等法が施行されてから三年あまりがすぎました。女性に従来、事務補助職と考えられてきました。「職場の花」という表現にも、そんな響きがこもっていたので



電波法違反防止旬間

六月一日～十日

電波は、テレビやラジオはもとより、船舶や航空機の安全航行用無線、警察や消防などの無線通信と、その利用形態は広がるばかりです。

ところが、郵政大臣の免許を受けない不法無線局もあとをたたないのが現状です。

電波を正しく知ってもらうため、六月一日から「電波法違反防止旬間」が行われます。

市民プールの監視員を募集

プールびらさも間近となりましたが、プールでの万一の事故に対処するため監視員を募集します。

- 勤務期間 7月1日(土)から9月10日(日)まで
- 勤務時間 午前8時45分から午後5時30分まで(勤務期間内に2回ほどの勤労者遊泳の日は、午後7時30分まで勤務)
- 募集人員 大学生または社会人から35名でいい
- 賃金 原則として一日4,000円
- その他 採用者には説明会や救急法講習会を実施
- 申し込み 6月15日(木)までに写真添付の履歴書、在学証明書を持参のうえ、中濃体育館(☎26-3241)へ

第11回市民卓球大会のお知らせ

手軽にできる卓球をととして、健康増進をはかるとともに競技者相互の親睦を深めませんか。

- とき 6月25日(日)、午前9時30分からプレー開始
- ところ 中濃体育館
- 主催 美濃加茂市教育委員会
- 後援 美濃加茂市卓球協会
- 競技種目 個人戦＝小学生、中学生、高校生、一般、家庭婦人、50歳以上の各部(家庭婦人をのぞいて各部とも男女)、団体戦＝1チーム3人シングル
- 参加資格 市内在住、在職、在学者
- 表彰 1位から3位まで表彰
- 申し込み 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、6月18日(日)までに中濃体育館(☎26-3241)へ

児童手当の受給者のかたへ

児童手当、または特例給付の受給者のかたは、現況届を提出して下さい。提出がないと受給が受けられなくなります。

- 対象 児童手当・特例給付の受給者、前年所得要件で非該当者、手当の申請手続きをしていないかた
- 提出期限 6月30日(金)まで
- 出張受付 下記の日程で実施

6月	会 場	時 間
15日(木)	三和連絡所	9:00～12:00
	伊深連絡所	13:00～16:00
16日(金)	山之上連絡所	9:00～12:00
	蜂屋連絡所	13:00～16:00
17日(土)	加茂野連絡所	9:00～12:00
19日(月)	古井連絡所	9:30～16:00
20日(火)	下米田連絡所	9:30～16:00
21日(水)	市福祉事務所	(太田、下古井地区) 8:30～17:00
22日(木)		

- 問い合わせ 市福祉事務所(内313)

水泳教室に参加しませんか

健全な体には、健全な精神がやどるといいます。あなたも水泳で体をきたえてみませんか。

- とき 7月1日(土)から22日(土)の毎週月・水・土曜日(10回コース)、午前10時から正午まで
- ところ 市民プール
- 参加対象 女性ならどなたでも(水泳教室の経験者も可)
- 参加料 2,500円(スポーツ障害保険料を含む)
- 定員 40名(定員になりしだい締め切り)
- 講師 女性2名
- 準備するもの 水着、帽子、タオル
- 申し込み 6月24日(土)までに中濃体育館(☎26-3241)へ

中山道まつり道中行列に参加を

美濃加茂市商工会では、中山道まつりの道中行列に参加していただけるかたを募集しています。

- 募集期間 6月15日(木)まで
- 募集内容 お殿様1名、小姓2名、腰元8名、茶坊主1名、大人奴20名、子ども奴10名、侍10名、武士10名、瓦版2名、町娘2名
- 応募資格 市内、市外をとわずどなたでも
- 衣裳 当方で貸与
- その他 中山道まつりは8月26日(土)、午後5時から
- 申し込み 往復ハガキで美濃加茂市商工会(市内太田本町1-1-20、☎25-8500)または市商工観光課(市内太田町3431-1、内262)へ

犬の登録と狂犬病予防のお知らせ

生後91日以上の犬は、法律で登録と年1回の予防注射が義務づけられています。お忘れのないよう注意して下さい。

- とき 6月8日(木)
- ところ 下記のとおりに巡回

場 所	時 間
古井連絡所	9:30～9:45
下米田連絡所	10:00～10:15
山之上連絡所	10:30～10:45
三和連絡所	11:00～11:15
伊深連絡所	11:30～11:45
蜂屋連絡所	13:15～13:30
加茂野連絡所	13:45～14:00
太田西公園	14:10～14:20
北一公民館	14:30～15:00
市役所(保健センター)	15:10～15:25
下古井公民館	15:35～15:45

- 料金 4,820円(登録料金＝2,100円、注射料金＝2,720円)
- 問い合わせ 市保健センター(☎25-4145)へ

6月の広報キャンペーン



歯を失うおもな原因は、虫歯と歯槽膿漏です。虫歯は「甘い物のとり過ぎ」、歯槽膿漏は「年だから」と諦めているかたはいませんか。たしかに甘い物や年齢が無関係とはいえませんが、それらの病気の原因は歯垢や歯石が深く関係しているのです。「歯の衛生週間」は、正しい歯の知識を広めるための週間です。

歯の衛生週間

六月四日～十日



はないでしょうか。六月は男女雇用機会均等月間。女子労働者への偏見をなくし、能力を生かせる環境づくりが求められています。

文化会館 ☎25-1108

■休館日 5日(月)・12日(月)・18日(日)・26日(月)

期 日	内 容	時 間
4日(日)	美濃加茂市制35周年記念式典	10:00～
11日(日)	第9回岐阜県管打楽器ソロコンテスト	9:30～
24日(土)～ 25日(日)	うちょうらん展示会(第2和室)	9:00～
25日(日)	エレクトーンフェスティバル'89岐阜地区大会	14:30～

中濃体育館 ☎26-3241

■休館日 7日(水)・14日(水)・18日(日)・28日(水)

期 日	内 容	時 間
3日(土)	スポーツ少年団指導者養成講習会	19:00～
4日(日)	スポーツ少年団体力テスト	8:30～
11日(日)	加茂野地区バレーボール大会	8:30～
15日(木)	グラウンド・テニスコート調整会 月ぎめ使用団体申請締め切り	—
17日(土)	美濃加茂市保育研究協議会	13:30～
18日(日)	中濃ブロック交通少年団自転車安全競技大会	8:30～
23日(金)	老人福祉大会	8:30～
25日(日)	市民卓球大会	9:00～
27日(火)	学校解放調整会	19:00～

中央公民館 ☎25-4141

■休館日 4日(日)・18日(日)

期 日	内 容	時 間
2日(金)	ダボ市との姉妹都市提携の調印式	14:00～
5日(月)	歯の優良児審査会	13:00～
10日(土)	可茂地区手をつなぐ親の会総会 スポーツ少年団指導者養成講座	13:00～ 18:00～
11日(日)	子ども会ソフトボール審判講習会	9:00～
17日(土)	市民大学講座(朝日新聞論説主幹、松山幸雄氏) 菊づくり講習会 スポーツ少年団指導者養成講座	14:00～ 13:00～ 18:00～
22日(木)	JR東海小集団発表会	8:30～
23日(金)	婦人大学講座	14:00～
24日(土)	ピアノ発表会 スポーツ少年団指導者養成講座	13:00～ 18:00～
25日(日)	ピアノ発表会	9:00～

地区だより

地区	期 日	内 容	場 所	時 間
太 田	4日(日)	太田地区ソフトボール大会	前平グラウンド	男子 8:00～
	11日(日)		前平グラウンド	女子 13:00～
	25日(日)	太田地区一斉側溝清掃	太田町一帯	8:00～
古 井	18日(日)	第13回古井地区 壮年ソフトボール大会	前平グラウンド	8:30～
	25日(日)		前平グラウンド 東総合運動場	
山之上	18日(日)	山之上地区40歳以上ソフトボール大会	山之上小	7:00～
加茂野	11日(日)	加茂野地区自治会親善バレーボール大会	中濃体育館	8:30～
伊 深	14日(水)	第8回伊深町民卓球大会(男女シングル)	伊深小体育館	19:00～
下米田	18日(日)	下米田地区自治会 親善野球大会	東総合運動場 下米田総合運動場	8:00～
	25日(日)		下米田総合運動場	

今月の納期

市 県 民 税 1 期 分
国民健康保険料 3 期 分
国民年金 6 月 分
6 月 30 日(金) まで

婦人大学講座

『心の健康を保つ—ストレスと上手につきあう法』



- 6月23日(金)、午後2時から
- 中央公民館201集会室、入場無料
- 講師：竹内令優氏 (名古屋心理トレーニングセンター所長)

図 書 館 ☎25-7316

■休館日 1日(木)・7日(水)・14日(水)・18日(日)～24日(土)・28日(水)・30日(金)

■おことわり 19日(月)から24日(土)のあいだは図書の総点検のため、休館させていただきます。

■6月のお話会 「お話ボランティア」が、つぎの日程で幼児のかたに楽しい絵本を読んで聞かせます。

3日(土)・10日(土)・17日(土)、午後2時から

そよかぜ号の巡回日程

地 区	月 日	巡 回 場 所	時 間
加茂野	26日(月)	加茂野小学校	13:00～13:30
		加茂野連絡所	13:40～14:10
		鷹之巣公民館	14:20～14:50
		稲辺公民館	15:00～15:30
		木野公民館	15:40～16:10
伊 深	27日(火)	伊深小学校	13:00～13:30
		伊深連絡所	13:30～14:00
		大洞公民館	14:10～14:30
		中 切 橋	14:40～15:00
		野 地 原	15:10～15:30
		最 乗 寺 前	15:40～16:00
三 和	29日(木)	三和小学校	13:00～13:30
		三和連絡所	13:30～14:00
		中甘屋公民館	14:10～14:30
		上甘屋公民館	14:40～15:00
		上 水 無 瀬	15:10～15:30
		中川浦公民館	15:40～16:00
下米田	30日(金)	下米田小学校	13:00～13:30
		下米田連絡所	13:40～14:10
		為 岡 公 民 館	14:20～14:50
		小 山 公 民 館	15:00～15:30
		牧 野 公 民 館	15:40～16:10

休日の水道修理は…

■6月の当番店 休日の水道管の破裂などのトラブルに対応できるよう、市上水道指定店組合では当番店を指定し、下記の日程で工事をいたします。

期 日	当 番 店	電 話	住 所
4日(日)	中部設備巧業	26-9804	田島町3-1-26
11日(日)	伊 藤 設 備	26-8738	中富町1-6-2
18日(日)	大 楽 金 物(有)	25-4466	古井町下古井2876-4
25日(日)	桂川電気産業(株)	26-3225	〃 447